

ななくり

The goal of our education is to clear 70 points in total

田迎小学校 学校だより

文責 藤本

第 2 号

2021.05.13



学校教育目標

創造性のタネをもち、自律する未来人の育成

令和3年度の学校教育目標は、上記のとおりです。それぞれについては、以下のように定義しています。

創造性のタネ～The essence of creativity

- 1、知識・技能
 - ・・・【指導の個別化】個別最適な学びの実現
- 2、思考力・判断力・表現力
 - ・・・【学習の個性化】協働的な学びの実現
- 3、科学的知見
 - ・・・【情報収集・分析・判断】ICT の活用
- 4、論理性
 - ・・・【批判的思考法】考え・議論する
- 5、読解力
 - ・・・【テキストの読み取り】教科書の文章理解

これらの資質能力について説明していきたいと思います。

1、知識・技能

・・・【指導の個別化】個別最適な学びの実現

どんなに思考力を育てようとしても、ベースとなる知識・技能がなければ話になりません。単なる反復練習だけでなく、体験や思考活動を通して生きて働く知識・技能を育てる必要があります。また、タブレットにある「ドリルパーク」のようなアプリ教材も活用して、苦手な部分も克服できる学びを実現していきます。

2、思考力・判断力・表現力

・・・【学習の個性化】協働的な学びの実現

一方、知識・技能が関連されたり、統合・発展できたりしなければ、これも話になりません。そのために、STEAM 教育のように「合科的」な学習を通して、自らの興味関心を生かした学習活動を設定していきます。

参考 PDF https://www.mext.go.jp/content/20200917-mxt_kyoiku01-000009959_4.pdf

3、科学的知見

・・・【情報収集・分析・判断】ICT の活用

ベストセラーのファクトフルネス (FACTFULNESS) に代表されるように、私たちは「事実」を知らずに、イメージだけで判断することが少なくありません。しかも「ネガティブ」な情報に偏りがちです。



★本書からの問題です【○か×か？】

(1) いくらかでも電気が使える人は、世界に20%程度しかいない。

(2) 世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は、過去20年で約2倍になった。

いかがでしょうか。どちらも○のような気がしませんか。

しかし、正解は【どちらも×】なのです。

(1)は 80%が使えますし、(2)は20年で半分になっています。

多くの人は、「世界は悪い方向に進んでいる」と思われているのです。

また、最近の Covid-19 に関する報道も陽性者数に関して過熱気味ですが、感染者との濃厚接触の定義については、あいまいなままです。

ちなみに、医療従事者・同居家族などを除くと、右のように3つの条件にすべて当てはまらないと濃厚接触者にはなりません。

参考：日本医師会 PDF



ですから、教室での通常の授業等は感染リスクが低い活動といえるでしょう。

このように「正しい情報」を「正しく判断する」ためには科学的な知見が必須です。ICT も活用して、情報リテラシーや情報モラルを育てていきます。

4、論理性

・・・【批判的思考法】考え・議論する

批判的思考法 (critical thinking) は、多面的にとらえ、論理的に考えることです。

道徳の授業は、このような「多面的」な思考法を重視します。どんなことも立場を変えてみれば、最適な判断が変わっていくからです。絶対解ではなく納得解を求める課題を扱ったり、妥当性を客観的に組み立てる時間を設定したりしていきます。

5、読解力

・・・【テキストの読み取り】教科書の文章理解

A 幕府は、1639 年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。

B 1639 年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

→A と B は同じ意味である。○か×か。

これは、数学者；新井紀子さんが提唱している RST (リーディング・スキル・テスト) の一部です。

正解は、もちろん×です。しかし、このような教科書程度の文章を正しく読めない中高生 (大人) が増えているのだそうです。本校でも国語だけでなく、様々な機会をとらえて正しく読み取る力を育てていきます。

自律する未来人～Autonomous future people

については次回、説明します。